

しちどうがらんあといせき

七堂伽藍跡遺跡

(茅ヶ崎市No.34遺跡)

調査期間 20081116～20090115

所在地 茅ヶ崎市下寺尾

時代

縄文
弥生
古墳
奈良・平安
中世
近世



作成日:20081128

概要

神奈川県藤沢土木事務所が計画・推進している、

こいでがわ

小出川河川改修事業に伴う発掘調査を行っています。

発掘調査は平成13年度から着手し、これまでに約10,000㎡
近くの調査を行いました。今年度で一連の調査は完了と
なります。

にしかたえーいせき
遺跡は、古代相模国高座郡家(西方A遺跡)と

しもてらおはいじ

下寺尾廃寺の西側に隣接する場所で、従前の調査でも
奈良・平安時代を主体とした遺構・遺物が多数検出されてい

ます。今年度の調査区では、ひとがた
人形・農具など多数の木製

かどう
品が出土した古代の河道の検出が見込まれています。ま
だ、調査を再開して間もないため、成果が得られ次第、逐次
HPで紹介していきたいと思えます。



▲近世以降の道状遺構